

Santen 健康白書 2022 (2022年9月発行)



# 「Santen 健康白書 2022」 発行に寄せて

Santenが目指す理想の世界「Happiness with Vision」を実現するために最も重要なことのひとつは、Santenの事業活動を支える従業員一人ひとりが心身ともに健康であり、仕事にやりがいを感じ、イキイキと活躍できることです。研究開発、生産、マーケティング・営業など、皆さん一人ひとりの活動がSantenの競争力の基盤となり、ひいては、患者さんや人々に対する革新的な価値の提供につながると考えています。

Santenで働く一人ひとりが健康でイキイキと活躍できるよう、2018年11月に「Santen健康宣言」を制定し、健康診断やストレスチェックなどの健康の維持・増進のためのサポート、眼科検診など「目」の健康に関するSanten独自の取り組みなど、健康支援体制の整備をすすめてきました。

2020年からは、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、私たちを取り巻く環境は大きく変化しましたが、患者さんや人々に製品やサービスを届け続けるため、テレワークをはじめ、これまでとは異なる新しい働き方に柔軟に対応していただき、事業活動を継続していただいたことにあらためて感謝しています。以降、会社としても各種制度を見直し、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスに対応した柔軟な働き方を実現できる環境を整備してきました。その成果の一つとして、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」にも認定されました。

そして、2021年度には感染症対策のための体制整備にとどまらず、従業員一人ひとりがその能力を遺憾なく発揮していただけるよう、職種・ライフスタイルに応じた柔軟な働き方をサポートする新制度として「New Work Style」を導入しました。これにより、皆さんがいつ、どこで、どのようにして働き、成果を上げるかを、より柔軟に選択できるようになりました。



現在の変革期を乗り越え、Santenが今後も成長し続け、顧客や社会へ貢献し続けていくためには、一人ひとりがより一層健康でWell-being(肉体的・精神的・社会的に満たされ幸福な状態)であることが重要だと感じています。そのため、ここに「Santen健康白書」(2022年度版)を発行し、改めて皆さんの健康に対する意識を高めていただくとともに、人生100年時代のキャリアをイキイキと歩んでいけるよう、アクションを起こす契機にいただければと思います。

代表取締役社長 兼 CEO

伊藤 毅

# Santen 健康宣言

## 私たちの健康と幸せが、 世界中の人々の 「Happiness with Vision」の実現に つながっています

Santenは「天機に参与する」という基本理念の下、目の領域に特化した企業として、世界中の一人ひとりが「見る」に関する最善の体験を通じて、それぞれの最も幸福な人生を実現する世界「Happiness with Vision」を創り出したいと考えています。

この「Happiness with Vision」を実現するために最も重要なことのひとつは、Santenの事業活動を支える従業員一人ひとりが心身ともに健康であり、Well-beingであり、仕事にやりがいを感じ活躍できることです。

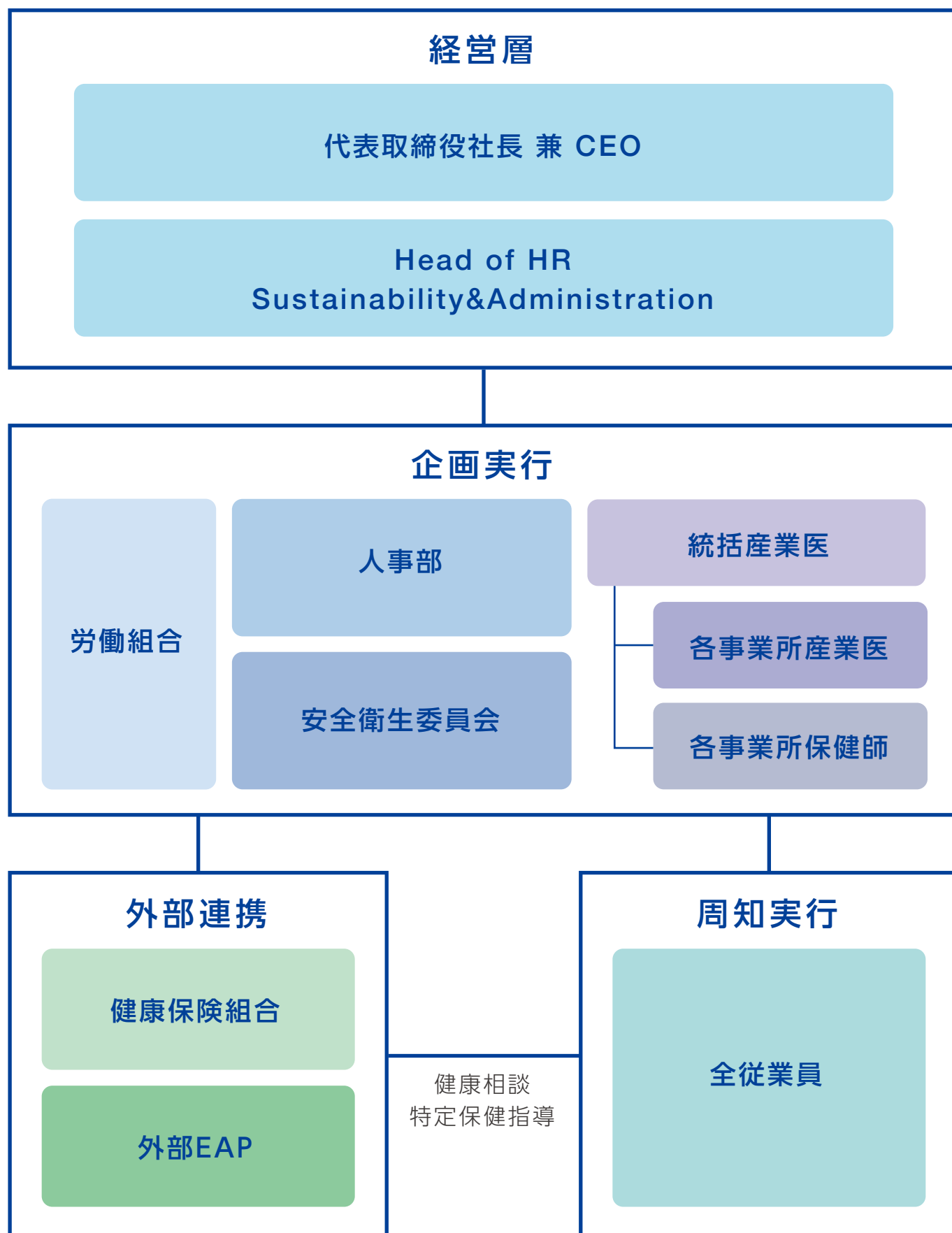
Santenは、従業員の健康が企業の経営基盤と不可分の関係であることを常に認識し、従業員の心身の健康の保持増進に積極的に取り組みます。

また、従業員の健康で充実した職業生活の実現とSantenの継続的成長を従業員とともに目指し、世界中の人々の目の健康に貢献していくことを、ここに宣言します。

代表取締役社長 兼 CEO

伊藤 毅

# 健康経営の推進体制



# Santenの健康経営

## 経営課題

- 価値創造を促進する組織風土の醸成に向けた、高付加価値で生産性の高い職場環境の構築

## 健康経営に向けた取り組み

- 法令に定められた心身の健康診断の確実な実施
- 働く環境の改善(働き方改革)に加え、心(メンタルヘルス対策)と体(目の健康と生活習慣改善)の健康支援策の実施

## 期待効果

- 従業員一人ひとりが心身ともにHealthy(健康)かつWell-being(幸福)で働きがいを持ち、活躍することによる人と組織の活性化

「健康経営」とは、「従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること」(\*)です。健康診断やメンタルヘルス対策など法定項目の実施環境を整備することはもちろん、一次予防も含めた健康投資を行うことで、従業員が健康となり生産性の向上や組織の活性化を期待でき、結果的に業績向上や株価向上につながると考えています。

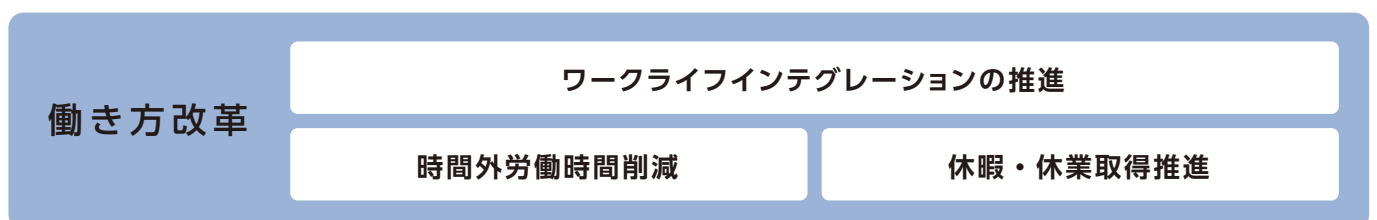
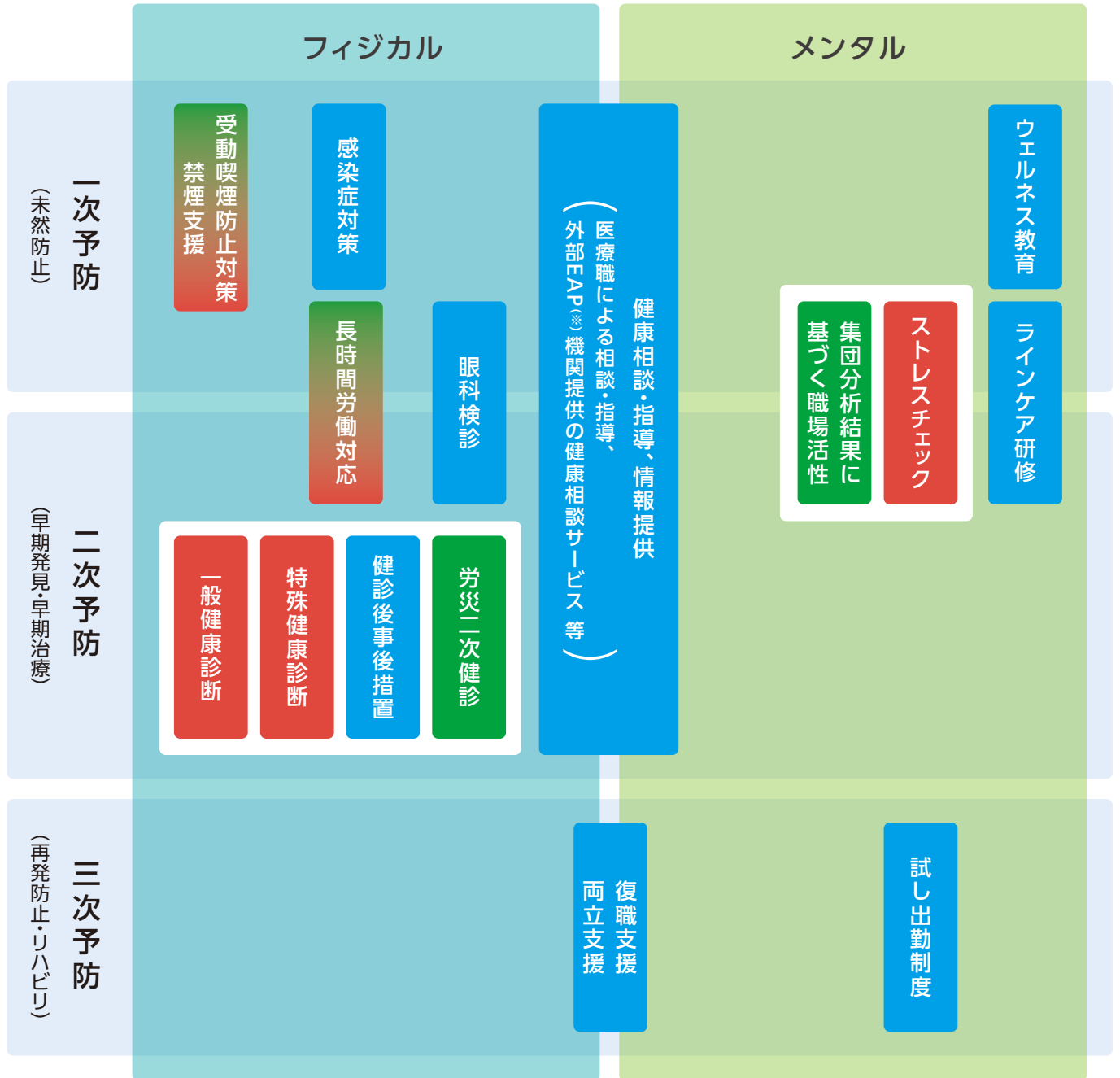
また、Santen2030で掲げる「Become a Social Innovator」のビジョンの実現に向けて、当社独自の取り組みである「眼科検診」の実施や、視覚障がいをもつ方との社会的なつながり・取り組みなどを通じて、一人ひとりがHealthy(健康)かつWell-being(幸福)で働きがいを持ち、中長期的に活躍することを目指しています。

(\*) 経済産業省「健康経営」の定義による

# 主な取り組み

## Healthy (健康) かつ Well-being (幸福) に働くための取り組み

法定(必須) 法定(任意) Santen独自



(※)Employee Assistance Programの略。メンタルヘルス不調の従業員を支援するプログラムを指す。

# 健康施策

従業員一人ひとりが心身ともに健康で、  
Well-beingな状態で活躍できるよう、  
Santenでは下図の4領域を中心とした施策を行っています。





## 眼科検診

従業員の目の健康を守るとともに、目の疾患に対する理解を深め自社の製品やサービスに反映し社会に貢献していくことを目的に3~4年に一度眼科検診を実施しています。法定検診ではないものの、毎回8割近い従業員が積極的に受診し、目の検査・疾患に関する知識の取得や、自身の目の疾患の早期発見と治療に役立てています。また、年に一度の健康診断では、独自項目として「眼底・眼圧」検査を追加し、定期的に目の状態について知ることができるような体制を整えています。

## 生活習慣病対策

### ハイリスク者アプローチ

受診や治療の必要な所見があった従業員に対して、保健師による受診勧奨を実施、強化しています。

また、健康保険組合と連携し「重症化予防指導」と「特定保健指導」の受講を積極的に勧めることで、個々人の健康意識を高め、重症化を防ぐとともに、生活改善による効果的な予防を促しています。

健康診断受診率	100%
精密検査受診率	36.6%
特定保健指導対象者数	274名
特定保健指導実施数	52名

〈2021年度実績〉

### 食習慣の改善支援

工場では、食堂業者様と連携し、健康的な食事提供や健康イベントを実施しています。滋賀工場では、従業員の健康状態に合わせ、食事改善や栄養に関する各種動画セミナーの配信を行っています。また、能登工場では「スマートミール」として栄養バランスの取れたメニューを提供しており、精製度の低い穀類の提供や、栄養成分の表示をしています。その結果、4年2期連続「スマートミールプロジェクト」認定を受けています。

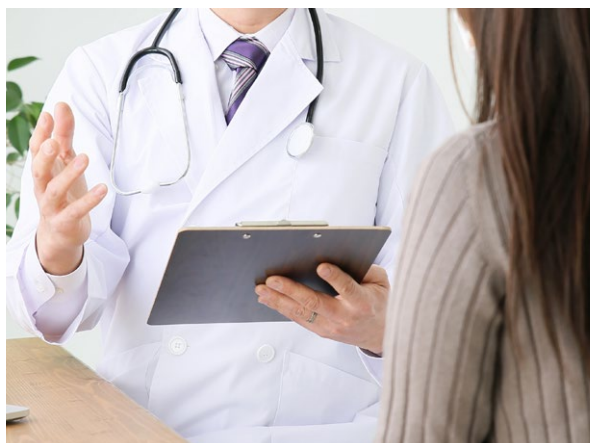






## 相談体制の強化

Santenでは、法律で定められている産業医だけでなく、各事業所に保健師を配置することで、日々の些細な健康相談もできる環境を整えています。また、2013年からは外部EAPを導入し、24時間365日、臨床心理士など専門の資格を有する相談員に相談できるサービスを提供しています。また、ハラスメントなどの通報にもグローバルに即時対応できるシステムと体制を整え、従業員が安心して就業できるようにしています。



## 休復職支援

私傷病により予期せず休業をしなければならない場合に備えて、積立休暇制度を導入し、従業員が安心して休める体制を整えています。また、休業が長引いた場合には、健康保険組合と協働し「疾病予防補助金」の申請ができるようにし、経済面でもサポートをしています。復職の際には、試し出勤制度を導入し、ご本人・上司・産業医・人事が一体となってスムーズな復職を支援するとともに、再発防止を目指しています。

## 新しい働き方の導入

社員一人ひとりが、いつ、どこで、どのようにして働き、成果を上げるかを、より柔軟に選択することで、従業員の自律と働きがいの向上を促し、「Happiness with Vision」を実現するため、2021年度に「New Work Style Guideline」をグローバル全体でリリースしました。これにより、例えばオフィス事務職であれば働く場所を所属オフィスに限定されない、フルリモートの働き方が実現し、また個々人のライフスタイルに合わせて働く時間を選択できる「ノンコアフレックスタイム制」を活用した働き方もスタートしました。



**Santen**